

# ○総務常任委員会

## 1. 委員構成（6名）

【令和5年4月26日まで】

委員長 植木弘子 副委員長 香取憲一  
委員 岩本好夫、石井 旭、戸田見良、真家 功

【令和5年4月26日から】

委員長 香取憲一 副委員長 戸田見良  
委員 岩本好夫、石井 旭、植木弘子、真家 功



## 2. 所 管

【令和4年第2回定例会から】

市長公室、企画財政部、総務部、市民生活部、議会事務局、会計課、  
監査委員会事務局

【令和5年第2回定例会から】

市長公室、総務部、財務部、市民生活部、議会事務局、会計課、  
監査委員会事務局

### 3. 審査件数(21件) 令和4年第3回定例会から令和5年第2回定例会まで

付託案件	件数	審議結果			
条例案	13件	可決すべきもの	13件	否決すべきもの	0件
補正予算案	7件	可決すべきもの	7件	否決すべきもの	0件
その他議案	1件	可決すべきもの	1件	否決すべきもの	0件
請願・陳情	0件	採択すべきもの	0件	不採択すべきもの	0件

### 4. 審査内容や所管部署の主な実施事業など

(※審査内容及び議決した案件の一部を記載しています)

#### (1) ふるさと寄附金事業【R5.3.23議決、R5.4.1執行】

安定的な財源確保のためと、本市の更なる知名度向上を図るため、市長公室に新たに設置する魅力発信課内に「ふるさと納税係」を専任で設置し、ふるさと納税の増額を図る。

さらには、寄附を取り扱うポータルサイトや返礼品を拡充するとともに、全国に向けて本市の特産品をPRする活動を積極的に実施する等、ふるさと納税を増やす取組みを推進する。

**(2) 姉妹都市との訪問団交流事業【R5.3.23議決、R5.4.1執行】**

【4年ぶりに姉妹都市との交流を再開し、アビリン市から訪問団を受け入れ】

- ・公募によりホストファミリーを募集。
- ・前半、後半(5日ずつ)に分かれ、1家庭で2名程度の団員を受け入れ。
- ・訪問団は、平日日中は団体行動となり、それ以外の時間帯については、ホストファミリーと過ごし交流を図る。

**(3) 効率的な行財政の運営【R5.3.23議決、R5.4.1執行】**

【債権管理業務の効率化】

- ・本市が管理する債権は、各種法令や判例等、広範囲にまたがり、時効や債権の性質等も異なるため、専門的な見地から本市の現状を調査、検証、課題の抽出を行い、債権管理に関する業務の改善策を策定。
- ・管理者及び担当者向けの研修を行い、債権管理に関する職員の意識醸成を図る。
- ・債権管理の運用方法を構築し、債権回収マニュアルや債権管理条例を策定。

**(4) 公共施設の最適化の推進(建替え)【R5.3.23議決、R5.4.1執行】**

【分庁舎の建設業務】

分庁舎は大規模災害時には、早期復旧のための実働部隊の拠点となるため、主な用途として都市建設部としている。

災害拠点となることから職員の安全確保や土木資材保護のために耐震安全性の分類・目標としてⅡ類で計画。

## 【建替計画】

軽量鉄骨2階建て

延床面積約1,000㎡

事務室・会議室・書庫・倉庫・湯沸室・トイレなど

## (5) 会計年度任用職員の業務を民間委託【R5.3.23議決、R5.4.1執行】

【一部の業務を民間に委託】

- ①幼稚園生活介助業務
- ②幼稚園バス運転業務、その他配送業務等
- ③幼稚園用務業務、給食配膳業務
- ④学校生活介助業務
- ⑤ティーム・ティーチング業務
- ⑥四季文化館みの～れ施設運営支援業務
- ⑦小川文化センターアピオス施設運営支援業務
- ⑧空のえきそ・ら・ら施設運営支援業務

## (6) 行政のデジタル化【R5.3.23議決、R5.4.1執行】

【口座振替受付サービス科目を拡充】

スマホ、PC、タブレット端末を利用して、インターネットから市税や料金等の口座振替の申込みができるサービス。

現在導入中のWeb口座振替受付サービスの4科目(市県民税・固定資産税・軽自動車税・国民健康保険税)に、10科目(介護保険料・保育料・放課後子どもプラン保護者負担金・市の上下水道使用料など)を追加し、合計14科目の口座振替申込みがインターネットから登録できるようにする。

**(7) 行政のデジタル化【R5.3.23議決、R5.4.1執行】**

**【伝票処理に電子決裁システムを導入】**

紙で決裁を行っている日々の伝票処理に電子決裁システムを導入し、庁舎間の移動時間や紙の使用量を削減し、事務の効率化及び資源の省力化を図る。

**(8) 行政のデジタル化【R5.3.23議決、R5.4.1執行】**

**【職員採用試験を応募しやすい環境整備】**

受験希望者は、採用試験をエントリーする際、これまで紙媒体の履歴書等を作成し、郵送や窓口へ持参することで行っていたが、応募は、市HPから受験希望者自身がPCやスマホ等で行う。

市は、システムにより管理業務及び応募者への連絡を行う。

**(9) 空き家対策の推進【R5.3.23議決、R5.4.1執行】**

**【空き家対策の補助金制度を創設】**

空き家バンク制度の利用促進のため、空き家の修繕や取得、賃借などにかかる費用の一部を補助し、有効活用及び市場流通を促進。

**(10) 地球温暖化対策実行計画(事務事業編)策定【R5.3.23議決、R5.4.1執行】**

**【脱炭素社会に向けて地球温暖化対策実行計画を策定】**

令和4年度から2ヶ年かけて、本市の所有する施設について温室効果ガス排出量及びエネルギー使用量等、必要な情報を収集・整理・分析し、削減目標を設定。

目標設定は2030年(令和12年)とし、令和6年から令和10年までの5カ年の計画を策定。

**(11) 防災対策の充実①【R5.3.23議決、R5.4.1執行】**

**【地域防災計画の全面改訂】**

国・県の計画改訂に伴う事項の修正、原子力災害対策を加えるとともに公共施設の統廃合や新型コロナウイルス感染症を踏まえた避難計画及び避難警戒レベルと災害時における市の防災体制の見直しを実施。

**(12) 防災対策の充実②【R5.3.23議決、R5.4.1執行】**

**【自主防災組織及び士育成事業補助金】**

(1) 自主防災組織に対し補助を行い、組織の新規設立や活動を支援活動費に対して1/2補助(上限50千円) 50千円×6組織=300千円

(2) 防災士資格取得者に対して1人10千円補助10千円×5人=50千円

### (13) 交通安全・生活安全対策の充実【R5.3.23議決、R5.4.1執行】

【地域における犯罪を抑制し、市民の安全心確保するため、防犯環境の整備や地域における防犯活動を支援】

#### ・地域の防犯対策

地域防犯対策として、電気料の負担が増している行政区の防犯灯を市が引き受け、今後の維持管理を行う。

予定数4,400基(10,662千円)

#### ・街頭防犯カメラの設置

犯罪の抑止と事件・事故の早期解決を図るため、通学路を中心とした公共性の高い場所に防犯カメラを設置。

設置数9基(6,930千円)

#### ・特殊詐欺対策機器購入費補助

高齢者を狙った特殊詐欺の被害を未然に防ぐため、防犯機能付き電話機等の購入費の補助を行う。

対象者:65歳以上の方補助額上限5千円×20件(100千円)

## 5.視察研修

令和5年1月24日(火)～25日(水)で兵庫県小野市及び兵庫県神戸市において視察研修を実施した。

兵庫県小野市:行政運営・方針管理について

兵庫県神戸市:内部通報窓口について